



議員による被害状況報告訓練



下洗馬地区防災会による消火器取扱訓練



小野沢防災会による消火栓放水訓練
(旧役場駐車場にて)

議会だより

あさひむら

デジタル社会に対応した避難訓練実施

村の地震防災総合訓練に合わせ、議会として初のLINEを駆使した避難訓練を実施しました。議会デジタル化委員会が企画し、議員間の連絡方法、被害状況の把握と情報共有を実践形

式で行いました。こうした訓練実施が村当局との連携の強化につながるよう、議会として今後もこのような新しい試みに積極的に取り組んでいきます。

もくじ



- ・ 9月定例会・臨時会・委員会報告・全員協議会… 2~3
- ・ 一般質問 村政を問う …………… 4~8
- ・ 特集「村議会議員になろう」 …………… 9
- ・ 議会モニター …………… 10
- ・ 議員活動報告・議員活動日誌 …………… 11
- ・ 村民の声・ちよこっと訪問・編集後記 …………… 12

●「議会だより」第46号

発行日/2022年10月31日
発行/朝日村議会
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
大字古見1555番地1
TEL.0263-99-2001(代)
FAX.0263-99-2745
Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp
印刷/川越印刷株式会社

一般 会計	歳入決算額	37億4,312万円	(前年比 △7.0%)
	歳出決算額	35億7,522万円	(前年比 △7.2%)
	実質収支	1億2,362万円	(前年 9,626万円)

令和3年度村のお金の使い道! (一般会計目的別決算概要)

議会費 4,970万円 議員報酬、議会運営費 	総務費 4億8,576万円 特別職・職員給与 バス対策 選挙等 	民生費 7億7,651万円 子育て支援、老人福祉、国民健康保険、障がい者支援、社会福祉協議会補助、保育所運営等
衛生費 1億9,064万円 水道負担金、保健予防検診 ごみ処理、清掃費、環境衛生 ワクチン接種	農林水産業費 1億6,213万円 有害鳥獣対策、農業委員会、農業振興、林業振興、土地改良、松くい虫対策等	商工費 1億7,575万円 商工会、観光協会、プレミアム商品券、プライムスキー場等
土木費 2億6,767万円 村道舗装修繕、除雪・融雪作業 河川浚渫、橋架修繕等	消防費 2億6,000万円 広域消防負担金、消防団運営 消防防災施設整備等	教育費 5億515万円 小中学校の維持管理、公民館 図書館・資料館・美術館等
公債費 2億6,752万円 地方債(借入金)の 元利償還金	諸支出金 4億1,197万円 基金積立	労働費 1,105万円 勤労者福祉資金融資 制度預託金等
		災害復旧費 1,137万円 復旧工事 

諮問

人権擁護委員

上條 多喜男氏

【任期】令和5年1月1日から

令和7年12月31日まで

※人権擁護委員は、人権擁護委員法の定めにより、
村長が議会の意見を聴いた上で推薦した者を、法
務大臣が委嘱する。

補正予算

一般会計 9,220 万円を追加

【主な補正内容】

●歳入	普通交付税	8,659万円
	国庫支出金(新型コロナウイルス感染症感染対応 地方創生臨時交付金他)	6,862万円
●歳出	財政調整基金積立金	7,571万円
	施設電気料	668万円

条例1件 補正予算1件

一般会計歳入歳出610万円追加 可決

7月29日に招集された第2回臨時会は朝日村建築物等における不良な生活環境の解消に関する条例の制定について提出され可決した。この条例は、村内の建築物等でゴミの堆積や樹木の繁茂で、村民の生活が著しく損なわれないようにするために必要な事項を定めたものである。補正予算は、この条例に関連し、歳出には空き家の相続管財管理人選定の申立費用等610万円が計上された。

第2回 臨時会

9月 定例会

令和3年度決算認定

新型コロナ関連中心に 歳入・歳出ともに約7.0%減



9月6日(火)に招集された令和4年朝日村議会9月定例会は、下記の議案等について慎重審議し、全案件を原案どおり可決し、9月16日(金)に閉会しました。

- ・条例4件(手数料徴収条例ほか)
- ・一般会計補正予算
- ・決算認定7件
- ・工事請負契約5件
- ・特別会計補正予算5件

決算審査意見(一部抜粋)

●代表監査委員 上條良久 ●議会監査委員 清沢正毅

令和3年度の決算額は歳入が37億4312万円で前年度比7.0%の減、歳出は35億7522万円で前年度比7.2%減となりました。減少の主な要因はコロナ関連の対策事業費減少に伴うものです。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は73.5%(前年度対比8.3%減)、財政力指数は0.286

(前年度対比0.015ポイント減)実質公債費比率4.0%(前年度対比0.9%減)となりました。財政主要指標は健全財政範囲内の数値であり財政の健全化に努めたことは評価するものです。引き続き財政の健全化に努めてください。
※10/31臨時会で実質公債費比率4.4%に修正報告あり。

8月17日
協議事項は、地震総合防災訓練、内部監査の実施結果、コンビニ交付実施に伴う交付手数料、コロナワクチン接種現況報告、大尾沢第一水源導水管敷設替え工事の進め方、中央公民館駐車場舗装工事について。議会では新型コロナウイルス感染症を含めた感染症への朝日村議会対応についての見直しを行い、今後の対応について全議員で確認した。

7月13日
協議事項は、朝日村防災センター建設、農業ビジョン策定、鉢盛登山マラソン、公民館夏の行事予定について。人口増対策の一環として旧おひさま保育園地域優良賃貸住宅整備について、計画が進まない現状を踏まえて小林村長から全議員へ意見が求められた。

全員協議会

社会文教委員会報告

●社会文教委員会委員長 中村文映

9月9日開催の社会文教委員会では、継続審議になっていた「辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会」から提出された「沖縄を捨て石にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情」について審議未了としました。

理由は、陳情書の主旨は一定の理解は出来るが、問題が大きく現在の国内及び国際情勢を見たとき、果たして実現性は有るのか、また、この問題が村議会の権限に属する範囲なのかを審議した結果、当委員会として、明確な判断が出来ないとの結論に達しました。

また、当委員会では7月8日に開催された『村民と議会

の懇談会』において参加者から回答を求められた「わくわく館のコロナ対応」について、教育委員会に質問状を提出するとともに、2回にわたり教育委員会と話し合いを行いました。

議会としては今年度から実施されている小学校給食の無償化など、朝日村の子育て支援策は、近隣市町村に比べて充実していると考えていました。しかし、「安心して働くために力を貸してください」との発言を重く受け止め、今回のコロナ対応も教訓とし、今後の議会活動を通して行政とも協議し「より子育てしやすい朝日村」の実現を目指していきたい旨、後日面談にて回答させていただきました。

総務産業委員会報告

●総務産業常任委員長 林 邦宏

今議会では付託された陳情・請願はなく委員会報告となります。

朝日水道行政は今後を見据え大規模な改良工事を大尾沢浄水場で、令和7年3月迄に総額8億3875万円を投じて実施します。村民の皆様へ安心・安全な飲料水を給水するための事業です。

主な事業内容は既存設備の耐震化工事・2基の緩速濾

過槽を撤去し新設配水池や平屋建ての浄水棟の建設、建物の中には設備機械装置が設置され、日量・1540m³の濾過能力を有する膜ろ過装置が配備され、より透明度の高い飲料水・クリプトスポリジウムの除去された安全な飲料水が給水される浄水場となります。

(注)クリプトスポリジウム…蛇・鳥獣などの糞・尿に宿主する病原性を有する原生微生物



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。



ここが聞きたい 9 議員 19 項目

林 邦宏議員 (4ページ)

- 1 熊の出没と鳥獣被害防止柵の管理について

中村 文映議員 (5ページ)

- 1 高齢者補聴器購入費用の助成について
- 2 特定外来植物の状況と村の対応について
- 3 保育園のオムツ持ち帰りについて
- 4 小学校へのゲノム編集トマトの苗配布について

齊藤 勝則議員 (5ページ)

- 1 今後の朝日農業の在り方と世界を見据えた農政をどうしていくのか
- 2 有害鳥獣、特に熊対策について

小林 弘之議員 (6ページ)

- 1 農道雨水、農地浸水防止壁破損について
- 2 小野沢本郷地区洪水被害対策について

塩原 智恵美議員 (6ページ)

- 1 朝日村ならではの空き家対策計画策定を
- 2 区と地区が所有する耐震性に欠ける建物の防災支援の必要性

羽多野 美映議員 (7ページ)

- 1 奨学金等に関する新たな子育て支援制度について
- 2 朝日村行政改革アクションプランに基づく働き方改革の推進と行政サービスとの両立について
- 3 地域住民のための「憩いステーション」設置について

高橋 良二議員 (7ページ)

- 1 空き家対策について

清沢 正毅議員 (8ページ)

- 1 長引くコロナ禍で変わってしまった地域コミュニケーションの活性化と今後の地区行政運営のあり方検討
- 2 村道小野沢11号線5号線の環境整備と安全対策

高橋 廣美議員 (8ページ)

- 1 公民館活動のあり方について
- 2 村が目標とするDX(デジタルトランスフォーメーション)事業の進捗状況について

問 九月上旬迄、告知放送では日々、熊の出没目撃情報が報じられ、外出時・屋外作業時・夜間外出の自粛などが報じられております。この放送を聞いた住民の受け取りは、不安な気持ちや漂い憂うつ感に見舞われると思われれます。

過日、上組地区の養蜂場への出没情報が報じられた際、向陽台地区の方から「終の棲家と定めたのに熊の出没する箇所に近い分譲地だった」と心配顔でしたが、鳥獣被害防止柵が張り巡らされているから、一定の安全は確保されている、と話すとき少しは安堵できると言っていた。

今年も春、古見の古川寺付近での目撃情報から始まり、キャンプ場上組地区の養蜂場と出没情報が報じられておりますが、行政の対応はどのように成っているかお伺いします。

①熊は鳥獣被害防止柵を乗り越えて集落側に出没する行動は取らないと伺っております。どの様な経路で出没すると、想定されておりますか。

②熊の目撃情報を得たとき行政はどのような体制を執られているのですか。

③熊出沒時、注意喚起を呼び掛けるだけ



出沒現場の状況に応じて最善策を執る

熊の出沒情報の対処は

ではなく、熊の習性に詳しい専門家を承知し学習会の開催を提案致します。いかがでしょうか。

産業振興課長 侵入経路としては河川沿いの沢の箇所から、鳥獣被害防止柵の、未設置箇所のスキー場・キャンプ場・中俣のせせらぎ公園からの侵入が、考えられる。

出沒情報の入手で、即現場に向き人身被害・農作物被害・野生動物の保護・この3の観点で確認し熊の有無状況により、猟友会・警察・松本振興局林務課で対応方法を協議し対応している。

特に人身被害への回避に重点を置いた対応策を執っている。

熊に関する専門家による学習会の開催提案の件は、必要性を見極め検討させていただきます。

問 河川上部などの鳥獣被害防止柵を敷設できない箇所には、防犯カメラなどを設置して、通過熊が即時検知でき、速やかな対応ができるシステムの構築化をされてはいかがか。

産業振興課長 カメラを設置し熊の形跡を確認し適正な処置を講じられるよう、対応していきたい。



中村文映 議員

高齢者の補聴器購入に補助金を

答 高齢者福祉充実の観点から検討する

問 加齢による難聴によって生活に支障が生じている高齢者に、補聴器購入費用を補助する制度を作ってはどうか。

住民福祉課長 近隣町村の状況や財政状況を見て検討が必要。

村長 ありがたい提案だ。調べたら多くの市町村で実施している。村でも高齢者福祉の充実の観点から制度を検討する。

特定外来植物の状況と村の対応は

問 特定外来生物のアレチウリヤオオキンケイギク・セイタカアワダチソウを見かけるが、村はどのような対策をしているか。

建設環境課長 草刈りボランティア活動等で駆除活動をして頂いている。今後も村民に協力をいただき対応していきたい。広報活動や指導も行う。

オムツは保育園で一括処理を

問 ココナもあり全国的に衛生管理の観点から『オムツの園での一括処

理』が増えているが、朝日保育園でも検討・実施できないか。

保育園長 一括処理は保育サービスに繋がると考えている。近隣町村の動向、実施方法などの情報を収集し、今後向きに検討していきたい。

ゲノム編集トマトの苗配布は

問 ゲノム編集したトマトの苗を、小学校へ配布する計画があるが、朝日小学校では受け取らないでもらいたい。

教育長 県教育委員会も情報を把握していない。個人的な見解だが、現在まだ長期的安全性が十分に確認できない物(ゲノム編集食品)を、子どもたちに教材や食材として提供する段階に無いと考えている。



齊藤勝則 議員

朝日農業の在り方と世界情勢を見据えた農政

答 農業資材価格高騰にはJAからの嘆願書に沿い支援策を検討し実施していく

問 ロシアのウクライナ軍事侵攻で世界各地に軍事面・経済面・穀物・資材面・エネルギーその他あらゆる面に、大きな不安を与え由々しきことです。

資材面での肥料価格の高騰は農業立村の朝日村にとっては大変なことになり、情報では180%から200%に達し高値安定で推移して行く事も考えられ心配です。

日本の肥料原料の尿素は4割、燐酸の9割を中国から、加里の25%はロシアからの輸入に頼っている。更に化学工業用原料用が加わると輸入量は増加します。政府は備蓄強化創設・調達先国の多角化・堆肥や下水汚泥の活用化を進める方針です。そこで質問です。

① 円安が進み24年振りに1400円台を割り、輸入品は価格上昇で大変です。堆肥や下水汚泥の活用・肥料備蓄を増やすなど、設備の拡充も考えてはいかがかか。
② 葉洋菜一辺倒でよいのでしょうか、6年連続となってしまうレタスの圃場廃棄、生産過剰解消策とは言っても農家の心情を考えますと大変です。村長・課長のお考えをお聞きたい。

③ 村として農家にどんな支援ができるか伺います。

④ 農地の土壌地力分析を実施して適正な施肥量を示して、肥料散布の適正化を図る必要性はいかがかか。

産業振興課長 国は「化学肥料原料の備蓄制度」を作る方針を公表した、原料の全てを輸入に頼り価格高騰のなか国・県に方針展開の推進をはたらき掛けていく、当村は肥沃な農地・完備された灌水装置・冷涼な気候などで、県内有数の高原野菜産地です、県内の他の競合産地と出荷が重なり、ここ数年圃場廃棄が続いていますが、当村の葉洋菜は需要が有り評価が高い、市場に出向き安心・安全な野菜のPRも実施していく、JA野菜委員会では新たな野菜の研究取り組みをされており、この研究を継続支援していく、化学肥料使用量の削減は国は「緑の食糧システム戦略」で化学農薬使用量50%・肥料使用量30%の低減目標を設定した、JAによる土壌診断が推進され、地力耕鋤が進められてきた、更なる土壌診断で施肥設計や堆肥の利用、緑肥麦の利用で低減に向けた取り組みを支援していきます。



小林弘之 議員

農道雨水、農地浸水防止壁破損と 小野沢本郷地区洪水被害対策について

答 村民が安心できる村が率先した対応をする

問 近年大雨洪水災害が多発している中浸水防止策が老朽化により壊れ農地に浸水し農地地権者が困っているアスファルト舗装での浸水防止壁の破損が多い。そこで伺います。

①浸水防止が壊れての修繕依頼はなかったのか？農道浸水壁及び排水路等の点検は村で今までに実施したことがあるか？

②浸水防止壁等の修繕は村で修繕してくれるのか？

建設環境課長 修繕依頼があれば建設

環境課の方で現場を確認し村の方で修繕を行っております。次に農道浸水壁、通称アスカーブに付いては特に点検などは村の方では行っておりません。アスカーブ雨水が農地に入ってしまう所があれば私達の方で地権者さんの意向もあるので確認しながら修繕を行っていきたいと考えています。

村長 予め全部を点検して歩くのは今の状況では無理、万が一被害があった場合、又は被害が起こる前に耕作者から相談を受けた場合にはどのようにしたら一番いいのか相談し我々は仕事として。

問 本郷集落センターから針尾へ向かう村道昨年八月の大雨洪水で道路脇排水路から雨水が溢れ出て民家に浸水し易い状態。何回か洪水にみまわれ土のうで何とか逃れてきている。私も現地を視察し状況確認しました。台風ゲリラ豪雨等大雨が来るたびに住民生活が脅かされ村民の生命財産を守る防災減災に向けた村としての対応必要性を大として感じている。そこで伺います。災害対策の優先度はあるが未だ対策もされない対応案も出てきていないのはなぜか？

建設環境課長 ご指摘の通り該当箇所は大雨の際、水路から水が溢れ近隣住宅に入り込んでしまうことがある。被害対策の優先度という観点でいくと村ハザードマップ土砂災害警戒区域全てにおいて被害対策が必要と考えている。地域に特化した地区防災マップ作成を小野沢区地域でも作成し全戸配布している。この場所は県事業への市町村要望として土砂災害対策に掲載対策をお願いしている状況です。

要望 暫定恒久対策案はこう考えているときちつと地区住民へ説明、回答をするこいで安心材料になると思つ。



塩原智恵美 議員

朝日村ならではの空き家対策計画を そして耐震性のない公会所等の 改修補助を

答 村の対策は遅れている。挽回する

9月は防災をテーマに2つ質問した。空き家対策計画は今年策定する予定。もう一つは昨年見直した耐震改修促進計画。2つの計画は関連があるため取り上げた。耐震改修促進計画は昭和56年6月以前の旧耐震基準の住宅が対象で、耐震補強を進めるための計画。策定から14年経過。耐震診断は42件。うち改修は5件にとどまる。

一方空き家対策はほとんどが旧耐震基準の家屋と思われる、したがって空き家の解体や耐震補強が進めば、耐震改修の目標値が改善する。こつした視点で質問を展開した。

問 全国の空き家対策計画策定率は83%。村は計画がないため現在は賃貸のみが対象。法律は解体や売買も対象で、計画策定済みの自治体に補助金を交付している。村は対策計画を作り、直ちに関係の要綱見直しが必要。

村長 村の空き家対策は遅れている。挽回を図る。

問 昨年見直した耐震改修促進計画は最終年の令和7年の耐震化率を70%とし、その為に240戸の耐震化を達成するという目標にした。現状の取組で達成は可能か。

建設環境課長 村の発信不足が原因で成果は出ていない。補助金要綱を整備して個別の対応など力を入れる。

問 耐震改修促進計画に位置づけられていない旧耐震基準の地区集会所や集落センターは13か所ある。何らかの手立てを講ずる必要があると考える。

村長 村単独の補助を考える。地区長会で提起しそれぞれの地区と協議を進める。

まとめ 2つの取組は法律に基づくもので、計画がないと国の補助金の対象にならない。村は財源確保を講じながら、村民生活の安心安全施策の実行が求められる。多くの村民が活用しやすい朝日村ならではの政策に期待する。



羽多野美映 議員

奨学金支援制度の導入検討は

答 令和6年の第3期計画に向け、研究する

問 教育に関わる家計負担が一番大きくなるのは大学や専門学校進学後である。第6次総合計画の基本戦略「子育て支援事業」は、令和5年に見直し、6年には第3期計画を作る。これに合わせ、「子供を社会に送り出すまで切れ目なく支援する」ための奨学金支援制度等、具体例として、給付または貸与型奨学金（ふるさと納税や、村へ帰ってきた場合など、返還免除する条件付き）・奨学金返還支援・学生応援ボックス（物資の援助）の導入を検討するか。

教育次長 少子化が進む中で、これからのニーズをどうとらえていくかの判断が必要。既存の制度を踏まえ、提案のあった支援制度に関し、計画策定に向けて研究を行っていく。
教育長 村は今後、人口減少も含めた対策の中で学生にどう目を向けていき、どうかかわるかの制度設計、政策が必要だと思う。既存のものがふさわしいかどうかも含め、今後研究していく。

職員の働き方改革と行政サービスとの両立について

問 村の取り組んでいる働き方改革は、業務遂行に影響なく職員のライフワークバランスを保ち、行政サービスの提供とも両立できているか。

総務課長 時差出勤で育児や介護の時間ができた、有給がとりやすくなったなどの回答がある一方で、業務内容、残業時間の工面など、課題も見え始めている。始まったばかりの取り組みなので具体的な成果を測るにはしばらくの時間がかかる。

問 村民への行政サービスを充実するためには、相談業務などは多様化している村民の生活スタイルに合わせ、対応が求められるが、現状は？
総務課長 事前相談があった場合、時差出勤などを利用し対応するといふ取り組みも行っている。

要望 相談業務については、ある程度柔軟に対応できることを示し、村民に安心感を与えてほしい。



高橋良二 議員

空家対策は

答 実施可能か検討する

問 村内においては空き家が122戸、その中で賃貸は10件ほどとなっています。その中西洗馬地区でもあったように放置空き家が有り最終的に行政で処理しなければならぬようになり大変憂慮する事態である。今後このような空き家が増える予想される。結婚してさて家を探したが朝日村には借家がない仕方なく塩尻市にアパートを借り朝日村まで仕事に来る。また家族が増えて今の家では狭すぎるので朝日村の中で借家はないかと探している人もいます。旧おひさま保育園の若者向け村営住宅中組住宅団地防災センターを作るのは良い事ですが建設までに3年から4年掛かると伺っています。その間にも人口は減少していきます。空き家も増えていきます。そこで空き家の水周りだけでも直して貸し出したらどうでしょうか。都会の人は古い家を求めている人も中にはいるでしょう。

企画財政課長 個人の所有する空き家を村が借り上げて整備するとすると村が管理者となり建物の維持管理事故対応など様々なリスクがある財源の投入公平性など課題がある。村内には今すぐ貸し出す物件は少なくかなり修繕を要する。移住、定住者には特別交付税が50%あり後は一般財源の対応となる。

問 村税も使って1・2年の間お試し期間を設けたらどうでしょうか。
村長 先ほど塩原議員にもお話ししましたが一回議会と行政でお話しをしたい、協議会も立ち上げますので、市民タイムスに載っていたのを見たのですが、山形村で一件お試し住宅があります、それを参考にしてみたいと思います。



清沢正毅 議員

地域コミュニティ活性化と 新たな行政区画の方向付けを

答 対話活動に力を入れ、新行政区画検討は成りゆきを見極めて考える

問 コロナがまん延して3年目になります。その間出前村政をはじめ各種イベントも中止、常会もほとんど開かれていないため、村民とのコミュニケーションに壁ができています。コロナだから中止ではなくコロナでもやれることを基本に対話活動に取り組むべき。また、地区行政運営にひずみが生じ、公民館活動にも支障が出て来ている。ようやく公民館活動あり方検討会が立ち上がり検討が始まったが、公民館活動だけをテーマにするのではなく同時並行して、新たな行政区画の審議検討も必要であると考えます。村長に残された任期はあと半年、その間にぜひ方向付けを。

村長 村民とのコミュニケーション不足は痛感している。残り半年コロナ感染予防に万全を期しながら対話活動に力を入れたい。また地区行政運営についても常会が開催されず住民同士も疎遠になっていることも事実。公民館活動活性化と並行してこの機会に新たな区

画整理に取り組んだらとの提案であるが、現在地区自主防災会を立ち上げたところであるため、その成り行きも見極めながら今後の方向性を考えていく。

問 針尾学校坂と県道バイパスから小野沢学校坂に抜ける村道の環境整備と安全対策に取り組んでいただきたい。両村道とも樹木が生い茂り昼間でも暗く、雨の日は枝や葉が落ちて滑りやすく危険！小学校や保育園への通学道路でもあり農業車両の利用も多い、また指定避難場所である中央公民館へのアクセス道路としても大変重要な村道である。事故が起きてからでは遅い、早急な安全対策と今後の恒久対策も検討すべき。

建設環境課長 河岸段丘の為道路拡幅は難しいが地権者の方々の協力もいただきかつ森林税等の活用も検討して環境整備と安全対策に取り組む。また、今後の村道安全管理に向けた恒久策も検討する。



高橋廣美 議員

公民館活動の在り方について

答 在り方検討委員会にて今後の方向性を考える

問 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で公民館活動が停滞している。時代の移り変わりや人々の生活様式の変化で公民館の在り方も変わってきている。次の質問をします。
① 今後の公民館の在り方を考える検討委員会ではどのような方向性を考えているか。

教育次長 松本大学の白土先生を座長に公民館長、集落支援員等で構成され今年度数回検討委員会を予定している。これまでの公民館の役割、活動の確認をして一定の方向性を見出し出したい。公民館の枠組みだけでなく地域とともに活動する公民館が必要と考える。
② 役員のなり手不足について

教育次長 検討委員会では公民館活動の方向性が出ることで役員体制も変わる。

教育長 今後の公民館活動は分館が本場に希望する事業、若い人、子供たちを呼び込む事業等主体性を重んじ、新たな枠組みづくり、分館のスリム化等にも取り組んで

いきたい。

問 村が目標とするDX事業の進捗状況について

企画財政課長 行政事務を中心にDX事業が進んでいる。マイナンバーカード普及啓発、地域プロジェクトマネージャーを中心に進めている。「DX推進計画」で検討し随時見直しをしながら進めていく。スマートフォン講座等を開く中で、幅広く村民に理解できるよう進捗していく。



明日の朝日村のために 「村議会議員」になろう



前は議会の役割や議員の仕事についてお話をさせていただきましたが、今回は議員になるための条件や議員を志すきっかけなどについてお話をしたいと思います。

Q なぜ議員になったの？

小さな自治体の議員がどんな動機で議員に立候補したのかといえば、ひと昔前は住んでいる地域（地区または区）の推薦を受け地域住民から背中を押されて立候補するという方が多かったように思います。しかし今は自分自身の思想

信条に基づいて、村の将来を考え一念発起という方が多いように思います。

どのような動機であっても、また自薦他薦どちらでも議員を志すことは可能です。

Q 議員に立候補する資格や条件は？

- ①日本国民で投票日に満25歳以上であること。
- ②朝日村議会議員の選挙権を持っていること。
(朝日村に引き続き3か月以上住んでいること)

以上のことから村議会議員になろうという志と被選挙権があれば、だれでも立候補し選挙に臨むことができます。



議員の権限と義務は？(議員必携から)

主な権限は、

- 議会招集請求権
- 発言権
(質疑、討論、質問など)
- 表決権
(賛成、反対の意思表示)
- 議案・動議提出権
- 請願紹介権
- 侮辱に対する処分要求権

主な義務は、

- ◇議会に出席する義務
- ◇規律を守る義務
- ◇懲罰に服する義務



議員定数とは？

朝日村は10人。議員の定数は議会ごとに条例によって定められている。定数は、議会が住民の代表機関であることから、

- ・選出母体である住民の数。
- ・意思決定をするにふさわしい規模が必要である。

朝日村の議員定数

～昭和30年	22人	平成15年～	12人
昭和30年～	16人	平成19年～	10人
昭和62年～	14人		

さあ議会に関心を持ち一歩前へ

next

次回は準備や必要な手続き等選挙までの流れをお話しさせていただきます。まずは心の準備を。

議会 改革

開かれた議会を目指して 議会改革その一歩!!



9月議会は村内でコロナウイルス感染者が毎日報告される状況の中開催され、コロナ感染対策に一層の緊張感をもって臨む定例会となりました。

議会運営委員会では定例会の都度、事前に会期中の会議運営の詳細を決めています。今回は傍聴者へのコロナ対応を検討し、初めて本会議場以外に傍聴できる部屋（一般質問は従来から実施）を設けました。

議会ではコロナ禍の3年半多くの活動が制約される中、できることに取り組もうと各種規程を整備しました。これは議会運営をスムーズに運ぶための環境整備です。各種規程など基準となるものを整備することによって、正しく効率的な会議の運営が可能となります。

具体的には議会運営基準を始め全員協議会運営規程など4つの規程のほかに議会モニター設置要綱をつくりました。また議会モニター制度導入や村民懇談会開催は村民の皆様には議会の仕事を知っていただくための活動で、わずかな歩みではありますが議会改革に取り組んでおります。こうした事が来年4月の統一地方選挙で真価が問われることとなります。

議会は引き続き村民皆様のご理解をいただくために『開かれた議会』を目指し、可能な限りあらゆる場を公開して参りますので、積極的なご参加をお願いします。

議会運営委員会委員長 塩原智恵美

モニターからの活発な提言!!

モニター制度はモニターの皆さんが日常生活で感じていること、議会を傍聴する中で感じたことを、モニター会議やレポートで発信して頂く制度です。

9月定例会(本会議[一般質問含む]、全員協議会、委員会)では、議会モニター延べ8人の傍聴がありました。

通常は議会閉会后1週間後に行われるモニター会議ですが、今回は村内コロナ感染の急拡大のため、急きよ中止としてレポートでの提出をお願い致しました。寄せられたご意見の一部を紹介します。

議会運営委員会副委員長 中村文映

- 議場に Wi-Fi 環境が整備されていて良い。
- 村長の議案提案説明で今の村の状況が良く分かった。
- 議案説明や一般質問など、写真や略図を用いて説明したほうが分かりやすいのでは(複数)
- コロナ感染した議員から「おわび」があったが、コロナ感染が「罪」であるように感じた。感染は不可抗力。「皆さんも気を付けて」で良かった。

- 一般質問で「実施を求める」提案があったが、行政にすれば予算や優先順位もある。主張が強硬すぎないか。
- 村長の進退についての質問がなかった。
- いくつかの提案型の質問があり良かった。
- なんでも「支援」、なんでも「村にお願い」では村は良くならない。村民が自発的に動き、足りない部分を行政に指導してもらう協働の村づくりが必要では。(複数)

第2回 村民と議会の懇談会開催予告!

日 時	11月18日(金曜日) 午後7:00~(予定)
会 場	朝日村役場大会議室

※詳しくは後日チラシを配布させていただきます。ご確認ください。

議会モニター募集中

議会では、ご都合のつく時に議会の傍聴や朝日村自立番組・YouTube等をご覧いただき、議会への意見・提言をしていただくモニターを募集しています。村政について話がしたい、議会って何をしているの等々、気軽にご応募をお願いします。

松本山雅FCホームタウンデー参加

9月25日に議会を代表いたしました。小林村長・朝日SCキャプテンの小学6年生のリユウジ君ほか、村内で活躍している団体数名で朝日村のPR活動及び松本山雅のサッカー観戦に行つて参りました。朝日村ブースでは観戦者に対して限定特典のプレゼントを渡し、地域おこし協力隊を始めとする村内各種団体によるヤマメの塩焼き・手作りパン・地元野菜などの特産品の販売を行つておりました。山雅ファンの皆様がたくさん購入していただき朝日村の魅力発信に繋がっていると感じました。

朝日村は2019年12月に正式に松本山雅FCのホームタウンに加入しました。以後、サッカーや各種イベントを通じての地域交流や将来を担う朝日村の子供達のスポーツを通



ホームタウンフラッグベアラー©松本山雅



じた教育関係の取組が行われてきました。お恥ずかしい話、私はこれまでスポーツ観戦にはさほど興味が無かつたわけですが、今回の観戦を通じて感じたことは、「勝利に向かつて突き進む選手の姿」・「観戦者に対して感謝の気持ちをもちつて応える姿」を目のあたりにし、選手一人一人の活躍は子供達にはもちろん、私たち大人にも夢や希望・感動を届けてくれるのだと感じました。現在の日本はコロナ禍を始め、円安による燃料・資材・食品等の物価高騰により経済は不安定な状況です。そんな世の中だからこそ、私たちはしっかりとした夢や希望を持つて歩んではいかななくてはならないと感じました。(北村直樹)

長野県町村議会議長会

9月26日に議会を代表いたしました。長野県町村議会議長会へ出席して参りました。長野市にある自治会館に長野県下の町村議長が一堂に会し、研修会及び各部会に分かれ国・長野県に対する提案・要望事項の審議を行いました。

前半の研修会では「銀座NAGANOの運営状況について」現状の説明がありました。銀座NAGANOは「信州ブランドの発信・県産品の消費拡大や農産物の販路拡張・観光振興と宣伝・県外者の移住や国内外との交流」

を目的としております。コロナ禍以前は約100万人だった年間来場者数が令和2年度は40万人と半分以下に減少するなど厳しい状況となりましたが、首都圏における長野県産品のPRに全力を注ぐとのことでした。

後半は部会ごとに分かれて提案・要望事項の審議。当村は経済産業部会に所属して主に「農政・林務・商工・観光」に関する事項を担当します。本年は円安を背景に隣国ロシアの紛争の影響で原油価格や物価の高騰が相次ぎ、農業・林業に大きな負

担が強いられるおられます。こうした実情に応じた支援策を強化し、地域経済の回復に切れ目のない対策を講じることが盛り込まれております。今後は10月25日に行われます総会で決

議され正式に国・県に対して提案・要望書が送られる運びとなります。(北村直樹)



銀座NAGANO研修会

議会活動日誌

7月

- 6 水 中学校組合議会
- 7 木 松本広域連合臨時会
- 8 金 議員住民懇談会
- 13 水 全員協議会・草刈り
- 14 木 町村議会議員研修会
- 15 金 松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会
- 20 水 総務産業委員会
- 22 金 社会文教委員会・議会運営委員会
- 29 金 第2回臨時議会

8月

- 3 水 松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会
- 8 月 松塩地区広域施設組合環境保全協議会
- 10 水 議会運営委員会・社会文教委員会
朝日村大博覧会実行委員会
- 17 水 全員協議会・総務産業委員会・社会文教委員会
- 22 月 社会文教委員会
- 30 火 議会運営委員会

9月

- 4 日 防災訓練
- 6 火 議会定例会開会
- 7 水 全員協議会
- 9 金 常任委員会
- 13 火 議会定例会本会議一般質問・全員協議会議会
議会運営委員会
- 16 金 議会定例会本会議・全員協議会
- 20 火 空家等対策協議会
- 21 水 令和4年度朝日村慰霊祭
- 24 土 商工会大博覧会
- 25 日 **松本山雅ホームタウンデー 11P**
- 26 月 **県町村議長会政務調査会 11P**

村民の声

地域の 共同意識の再構築



針尾区長

筒井 常夫さん

朝日村の中には五つの区があり、古見区には八幡神社、針尾区には熱田神社、小野沢区には本郷に熊野神社、新田上下には諏訪神社、西洗馬区には五社神社があります。それぞれの神社は合社の歴史もあるようですが、地域の皆さんが神事やお祭りに賑やかに集う姿が想像でき、村内の五つの区のエリアはお宮に深い関係があるような気がします。

そんな針尾区の区長を拝命し半年が過ぎようとしています。区の運営は全てにおいて地域の皆さんの共同意識に頼るところが大きく、皆さんからご協力をいただいで進めてまいりました。今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

さて、近年は新型コロナウイルスの蔓延により、村内でのほとんどの行事や様々な集まりが縮小、あるいは中止になっていきます。

この状態が長期にわたると、地域の人と人とのつながり、地域コミュニティがどんどん薄れていくのではないかと心配です。

私たちの世代は先輩たちが残してくれた、地域の共同意識という大きな財産を少しずつ減らしてしまっているような気がしてなりません。

次世代に地域の良好な人間関係や共同意識を残していくためには、各地区・地域において活性化が図られるかが一番のポイントだと思えます。地域におられる先輩たちの意見を聞きながら、私たち一人一人が考え話し合い、それが少しずつでも実践されて、地域コミュニティの活性化を図ることができればと思うこの頃です。



もちもちのパンが並ぶ

村内の施設やイベントに 議員が訪問してその取組や 要望を聞く地域密着のコーナー

第14弾「ときのぱん」

朝日村にある惣きわみん屋

「あれ、はーるかぶりだねえ」「元気にしてたかね」開店前の『ときのぱん』に集まってきたお客さまたちが互いに挨拶を交わす。窓際に並べられたパンを目にする。「やだーみんな食べてえわやあ」「どれにすりやいいいずら」と声のトーンが一つ上がる。小さなコンテナハウスの窓際に陳列棚が置かれているところから「まどぎわパン屋・ときのぱん」として、地域おこし協力隊の任期を終えた信時さんがオープンした。

近所の方は、散歩がてら出かけて来られる。パンは玄米粉を配合し、もちもちしているが食べてももたれないから、一度食べるとファンになる。店主一押し「よもぎあんぱん」は深緑のまるパンの真ん中に包丁が入り、たつぷりのあんこが鎮座している。定番のパンに加え、季節により具材を変える。冬に向けてグラタンパンなどを提供していく予定。営業日は水、金、土曜日の10時30分から、木曜日は役場駐車場12時から販売する。いずれも売り切れ次第終了。午前3時起床で大変な部分もあるが、新婚の信時さんは夫も積極的にイベントに同行してくれるそう。休暇を合わせ、買い出しついでにお茶を飲みながら二人でゆっくりと話せる時間も大切にしている。

(羽多野美映)

編集後記

遠い国の話ではなかった。ウクライナとロシアの紛争。私たちは傍観者ではない。過日の観光協会主催の大博覧会で朝日村のピーツをつかってボルシチを作り、多くの村内外の人々が平和を願い、ウクライナ支援の気持ちを表した。平和のありがたみとともに、新たな気持ちで世界を見つめる機会になった。

(高橋廣美)

- 発行責任者 北村 直樹
議長 高橋 廣美
編集委員 高橋 良二
委員長 中村 文映
副委員長 齊藤 勝則
委員 清沢 正毅
塩原智恵美



こちらから
朝日村議会の
ホームページを
ご覧いただけます



西洗馬にある
コンテナハウスの店舗



毎週木曜日
役場駐車場で販売